

令和２年度第２回 瑞浪市中山道保存活用計画策定懇談会 会議要旨

- 日 時：令和３年３月１１日（木） １０時００分から１２時００分まで
- 場 所：瑞浪市化石博物館（レクチャールーム）
- 出席者：秋山晶則、櫻木耕史、可知正己、大竹和夫、小栗司、足立亘
砂田普司（事務局）
須田勇人、株式会社イビソク（オブザーバー）

■議事

３．意見を求める事項

- １）目次修正及び計画内容（第１章～第３章）について
事務局より資料（別添資料No.1、No.2）に基づいて説明

■目次修正について

- ・目次案の修正については事務局案のとおり修正することで差し支えない（全員同意見）。
- ・目次案の記載事項と、計画書の素案の章立てや使用している文言に不整合があるため、整合するように目次案を修正していただきたい。

■計画内容（第１章～第３章）について

- ・文書全体の句読点や重複した表現等については、再度確認・整理してほしい。

◎第１章関連事項

- ・第２節において「瑞浪市域の中山道には、道路だけではなく交通遺跡等も含まれる」旨の記載があるが、石造物が多数残されていることも特徴である。従って石仏に限定するのではなく、「石造物が数多く含まれています」と修正してほしい。
- ・図 1-3「史跡中山道位置図」の中山道の表現は、図 1-4 と同様に、指定地と指定地外を色分けして表現することが好ましい。また、縮尺も追加してほしい。
- ・第４節において他の計画を列記しているが、特段の取り決めがなければ（３）瑞浪市教育振興基本計画を最初に記載し、景観計画と都市計画マスタープランをその次に記載することが好ましい。
- ・図 1-6（正しくは図 1-7）の関連法規の２行目に道路法などの記載があるが、ここでは市民生活に近いものを優先して記載してほしい。特に、景観法は中山道と市民生活に深く関わるため、ここに記載してほしい。

◎第２章関連事項

- ・第３節において「瑞浪市域の中山道は、中世東山道とは異なるルートで中山道が整備された」旨の記載があるが、中世とは異なるルートを通っている点は瑞浪市域の中山道の歴史的な特徴である。また、この点は「史跡の本質的価値と構成要素」を考える上でも影響がある事項とも考えられ、この点をより詳細に記載することが好ましい。
- ・第４節の（４）観光において中山道への来訪者の数値が記載されているが、どのように

測定した数値かとやや疑問も残る。中山道のウォーキングイベント参加者など、他にも使用できる数値があれば、第5章「現状と課題」でイベントの開催状況や参加人数などを記載するようにすることが好ましい。

- ・第4節には市の交通に関する事項が記載されていない。瑞浪市の中山道は交通アクセスが悪いという点が一つの特徴であり、課題である。ここでは市の交通行政の状況を示す資料として、交通に関するグラフを追加して記載ほしい。また、第5章「現状と課題」でも交通アクセスの問題と飲食店が少ないなどの課題を記載してほしい。

2) 史跡の本質的価値と構成要素について

資料（別添資料No.3、No.4）を示して、事務局案を提案・説明

■史跡の本質的価値について

- ・①の最後の部分に「史料も多く残されています」とあり、別添資料No.4にそれらが示されているが、調査すればより多くの資料があると思われる。特に道路のメンテナンスに関わる史料などは、地域の人々と中山道とのかかわりを示すもので、史跡の価値付けにも資する可能性が高い。計画完成までに史料調査などを継続し、追加してほしい。
- ・②に「一里塚などの道路遺構も良好な状態を…」とあるが、第1章でも指摘があったように「一里塚などの交通遺跡や多数の石造物も良好な状態を…」と修正してほしい。

■構成要素について

- ・史跡周辺の景観を考慮すると、史跡指定地外の取り扱いが課題である。事務局案では指定範囲外を分類Cとしているが、分類Bと同様に、例えばC1：歴史的や景観的価値を有する諸要素、C2：保存・活用に資する諸要素などとする方が好ましい。
- ・史跡指定地外ではあるが、中山道周辺には多くの太陽光発電パネルが設置されている。このパネルが景観に与える影響については、本計画に課題として記載すべき。
- ・現在、アスファルト舗装がなされている区域であっても、今後さらなる追加指定を目指していける区域もあるように思う。これらの区域も分類Cに含めるのが好ましい。
- ・史跡指定地外の中山道や周囲の景観も一体となって本史跡の構成要素として整理してはどうか。すなわち、周囲の立木なども本史跡の構成要素として整理・分類することで、むやみな伐採や開発の抑制につながることを期待できる。ぜひ検討してほしい。
- ・文化財は「モノ」として指定を受けているが、中山道がこれまで良好な状態で維持されてきたのには、地元住民などにより維持管理されてきた結果である。そのため、保存や活用などに関わってきた「人の営み」も構成要素に含めるよう検討してほしい。

4. その他

事務局より、地域住民を対象としたアンケートを実施して約7割の回答があった旨、また、次回懇談会の日程は4月以降に改めて事務局が調整を行う旨を説明。